

## 5 . 重点プロジェクト

### 5 - 1 . J R 越後線の利便性と運行頻度向上に向けた取組み



J R 越後線巻駅(新潟市西蒲区)

#### プロジェクトの概要

- ◆ J R 越後線の運行状況は、新潟大学が利用圏域に含まれる内野駅までは概ね 20 分間隔の運行が確保されていますが、内野駅以西では日中 60 分間隔と白新線・信越本線に比べ、運行本数が少ない状況にあります。
- ◆ しかしながら、これからの区をメインステージとしたまちづくりを進めるためには、各区を結ぶ公共交通サービスの効果が重要であり、特に西蒲区の拠点駅となる巻駅までの運行頻度向上が望まれます。
- ◆ このことから、越後線の運行改善に向けて、まずは駅の利用環境の改善と交通結節機能の強化など市民が利用しやすい駅環境整備を推進します。
- ◆ さらに、運行頻度向上を目指した鉄道事業者・関係機関からなる実現化検討体制を構築し、技術的検証など実現化に向けた検討を進めます。
- ◆ また、駅舎におけるコミュニティ活動など多様な活用に向け、活用策や管理に関する関係者の連携・協力方策の検討を行います。



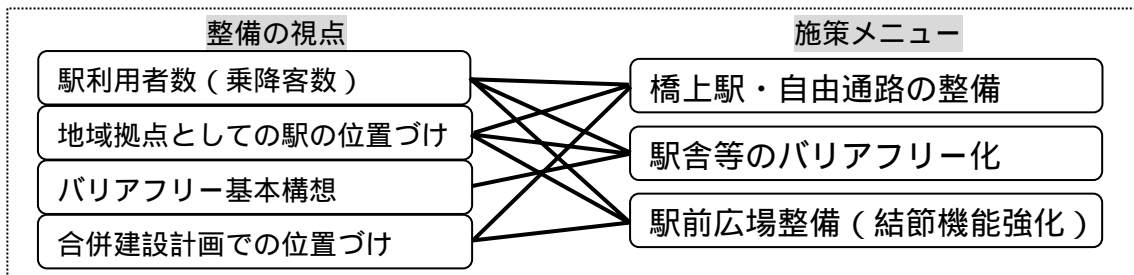
J R 越後線

## ( 1 ) 越後線駅環境整備の推進

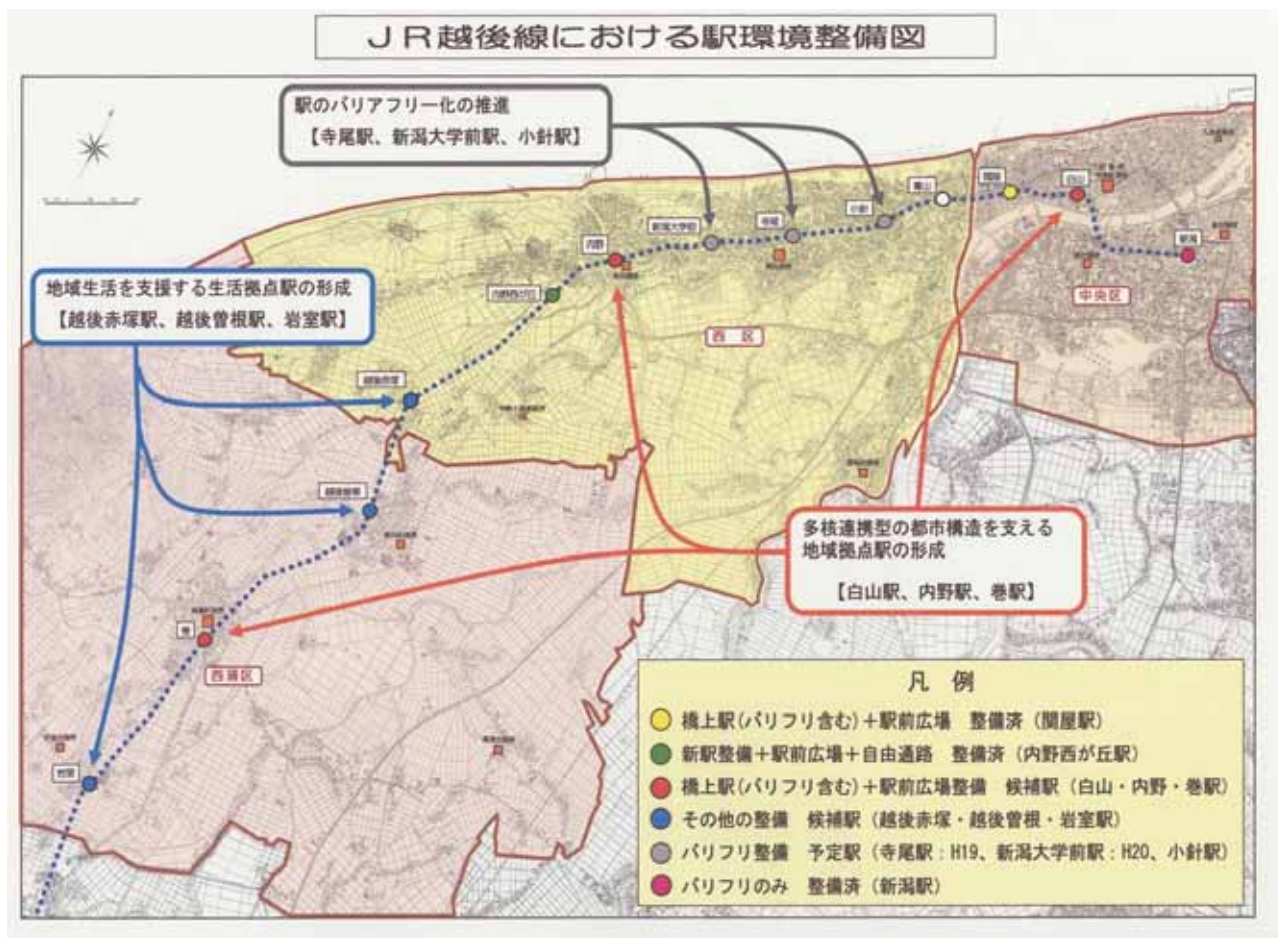
### 駅の担う役割や利用状況に応じた駅環境整備

#### >> 駅環境整備の基本的な考え方

誰もが便利で快適に利用できる利便性の高い駅環境を創出するため、以下の視点から想定される施策メニューに基づき、駅の担う役割や利用状況に応じた整備を推進する。



整備方針	整備内容	対象駅
多核連携型の都市構造を支える地域拠点駅の形成	地域拠点としての魅力向上と周辺地域の活性化を図るため、バリアフリー化を踏まえた駅舎及び自由通路等の整備を推進するとともに、広域的な鉄道利用を促進するため、バスとの結節機能強化を図るバス乗り入れを考慮した駅前広場整備を推進する。	白山駅 内野駅 巻駅
駅のバリアフリー化（エレベーター設置）の推進	バリアフリー基本構想に基づく特定旅客施設ならびに乗降客が多い駅（概ね 5,000 人以上）において、バリアフリー化を推進する。	寺尾駅 新潟大学前駅 小針駅
地域生活を支援する生活拠点駅の形成	生活拠点としての鉄道利用圏域の拡大や利用促進を図るため、P & R・C & R、区バスとの結節などを考慮した駅前広場や駐車場整備に向けた取り組みを推進する。	越後赤塚駅 越後曾根駅 岩室駅



#### 地域拠点駅における橋上化・自由通路・駅前広場整備

賑わいと魅力あふれる地域づくりを支え、都心や地域間などの交流・連携を強化させる地域拠点駅の形成に向け、白山駅・内野駅・巻駅においてバリアフリー対応の駅舎及び自由通路、駅前広場整備について検討を進めます。

〔橋上駅舎&自由通路整備イメージ〕





### 白山駅での取り組み

- ・半地下駅舎の整備
- ・自由通路の整備
- ・バス乗り入れを考慮した駅前広場整備

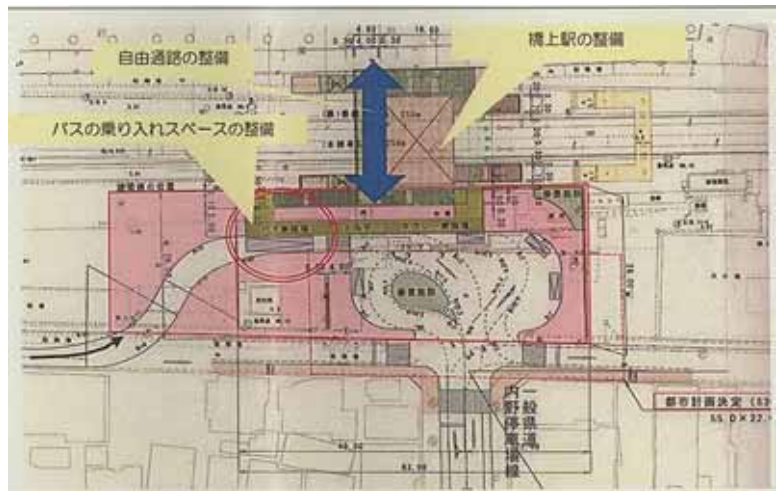
〔白山駅周辺整備イメージ図〕



### 内野駅・巻駅での取り組み

- ・橋上駅の整備
- ・自由通路の整備
- ・バス乗り入れを考慮した駅前広場整備

〔内野駅周辺整備イメージ図〕



## バリアフリー基本構想に基づく重点駅のバリアフリー化

乗降客が概ね 5,000 人 / 日以上と利用が多い新潟大学前駅・寺尾駅・小針駅において、昇降施設の設置などによるバリアフリーを進め、利用しやすい駅環境整備を目指します。

〔エレベーター設置イメージ〕



〔エスカレーター設置イメージ〕



〔駅前広場段差解消イメージ〕



### 生活拠点駅における P & R 駐車場整備の検討

鉄道利用圏域の拡大を図り、利用しやすい鉄道とするため、越後曽根駅・岩室駅などの生活拠点駅における P & R 駐車場の整備に向けた検討を進めます。

〔 P & R 駐車場整備イメージ〕



JR 磐越西駅 新関駅 P & R 駐車場

### 駅舎の多様な活用方策の検討

駅を交通結節点としてだけでなく、地域のコミュニティ活動拠点や観光情報発信拠点、にぎわい空間などの多様な活用に向け、関係者の連携・協力により方策の検討を行います。

〔駅舎の複合利用イメージ〕



〔JR 浜小清水駅 & 道の駅はなやか小清水〕



〔亀田駅に直結する亀田駅前地域交流センター〕

道の駅「はなやか(葉菜野花)小清水」は「道の駅」と JR 浜小清水駅の駅舎機能が共有された全国的にもユニークな施設で、「クリーン農業 = 小清水町」を全国に発信する施設です。

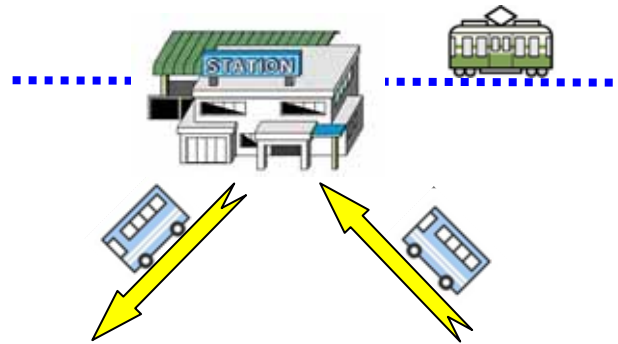
亀田駅前地域交流センターは、JR 亀田駅の自由通路と 3 階で接続され、1・2 階は駐輪場、3 階にはギャラリーや多目的ルームのほか、行政サービスコーナーなどを備えた市民が気軽に立ち寄り交流できる施設です。



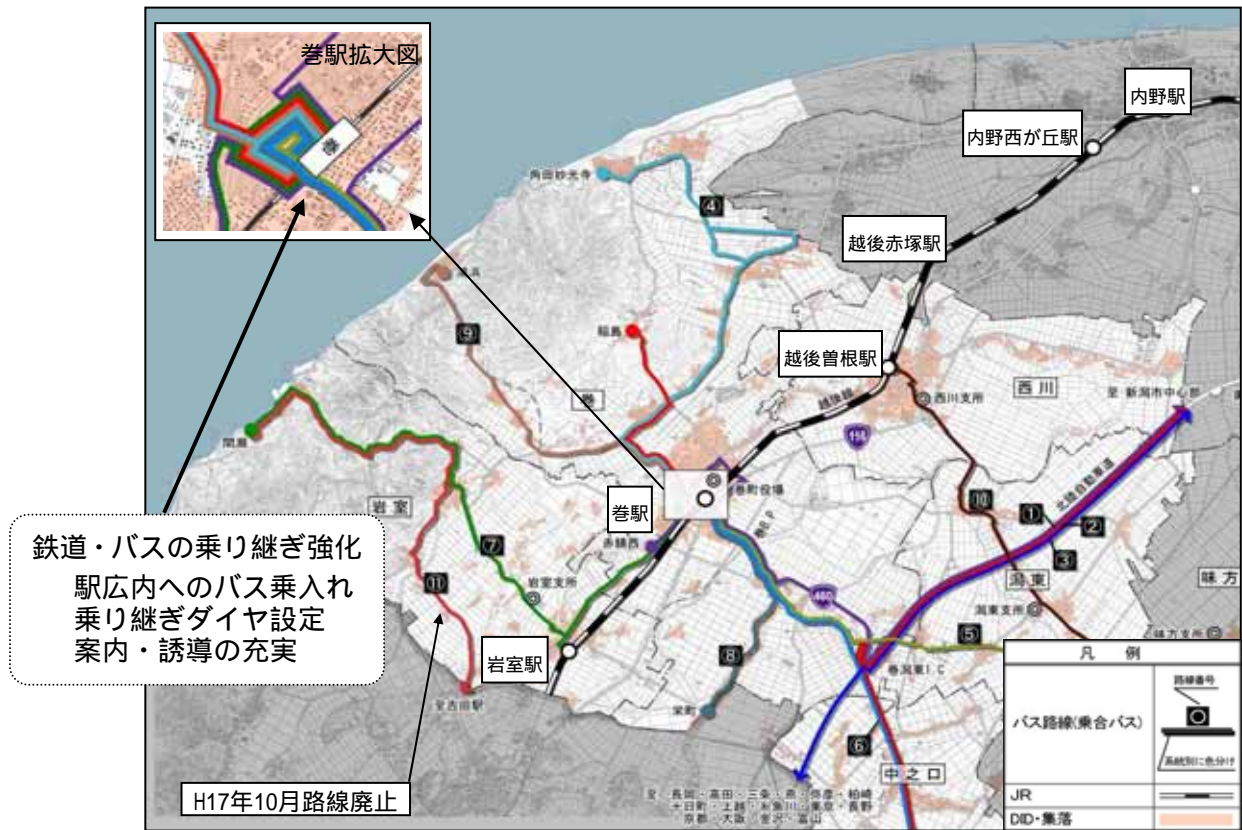
## (2) 地域拠点駅へのバス利便性向上

鉄道とバス相互の乗り継ぎ改善・  
ダイヤ連携などによる利用促進

内野駅・巻駅などの地域拠点駅において、駅前広場整備にあわせ、鉄道と区バスや路線バスとの乗り継ぎを考慮したダイヤ設定などの連携強化を進め、利便性の向上を図ります。



〔西蒲区における公共交通の現状〕



〔巻駅前バス停位置図〕

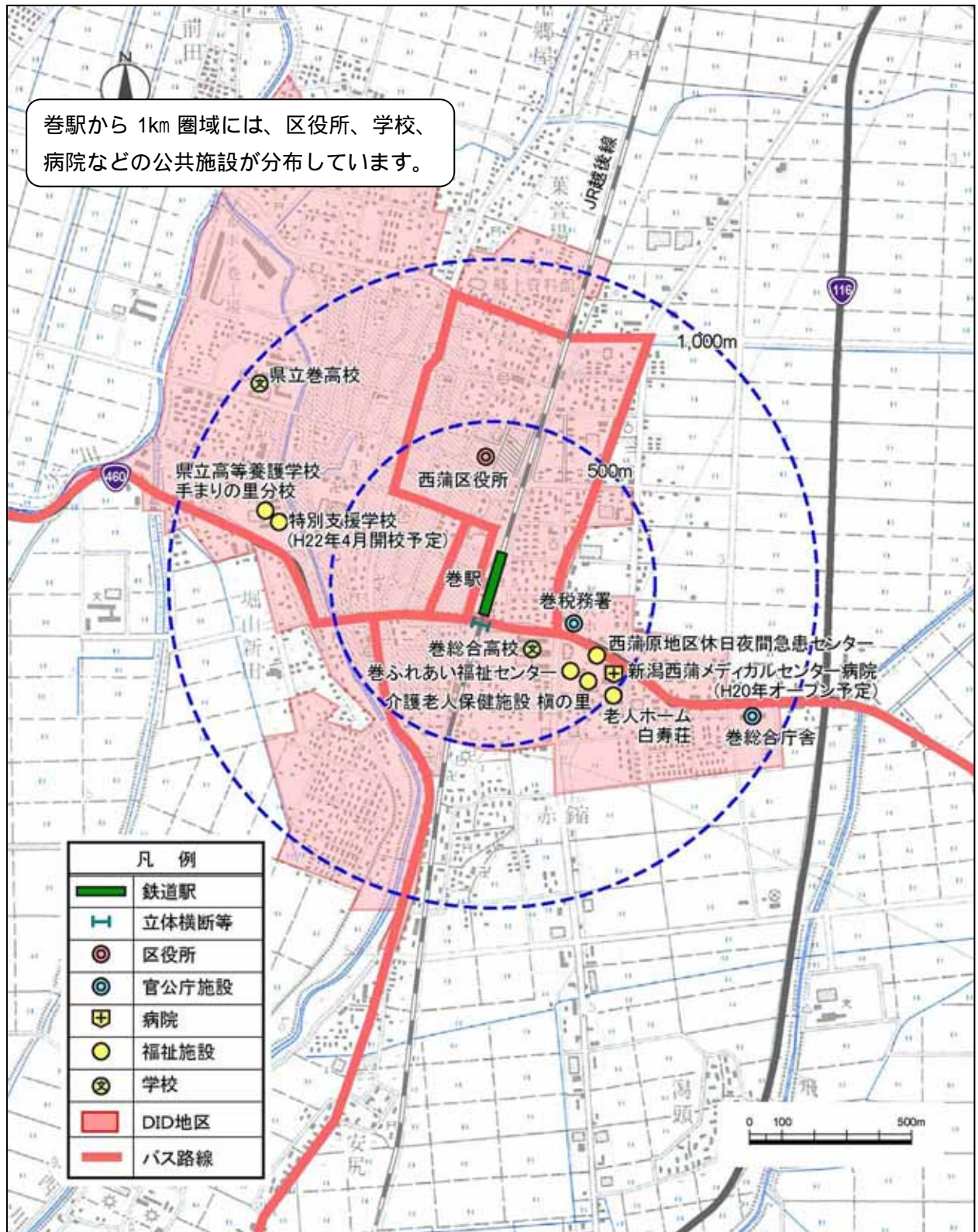


〔巻駅前バス停現況〕



巻駅とバス停間の距離；約60m

〔巻駅周辺の公共施設分布とバス路線網〕





### (3) 運行本数の増加に向けた取り組み

#### 鉄道事業者や関係機関からなる 実現化検討体制の構築

駅環境整備や交通結節機能の強化による鉄道利用圏域の拡大と利用促進に併せ、越後線の運行頻度アップに向けた実現化検討体制の構築を行い、実現化に向けた検討を進めます。

#### 想定される検討項目

- ・JR 越後線の今後の利用動向
  - ・沿線開発など新たな需要確保策
  - ・行き違い設備等の整備計画
  - ・ダイヤ設定および運行計画(車両・人員含む)
  - ・事業手法および事業主体
  - ・事業採算性
- など

#### 運行本数の増加(20分間隔) に向けた可能性評価

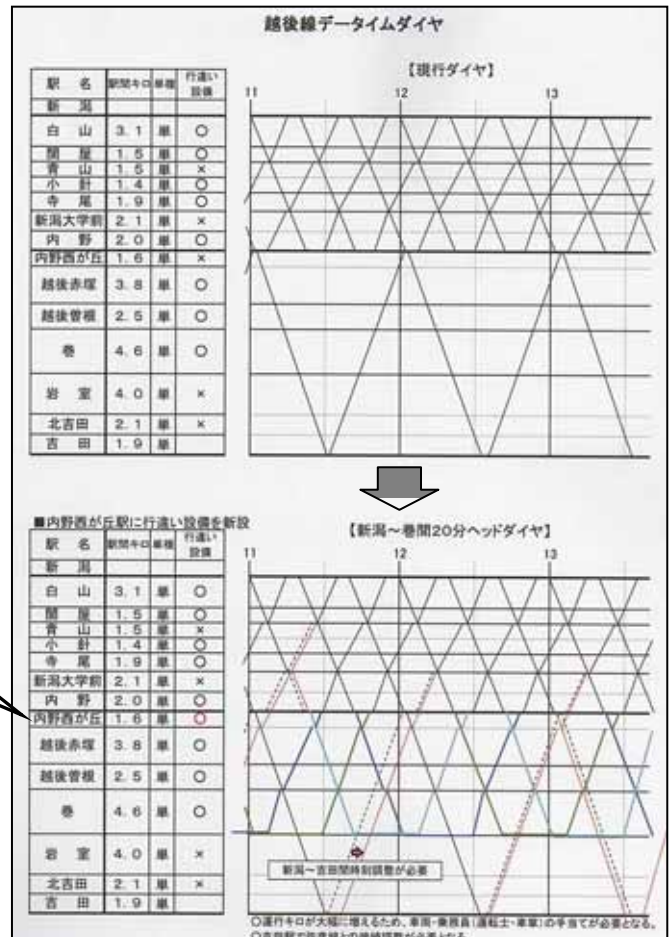
新潟～巻駅間での20ヘッド運行を実施した場合の施設・設備面での対応について、ダイヤグラムから検証を行うと、内野西が丘駅への行き違い設備の新設により可能性が認められることから、さらに技術的検討を進めます。

内野西が丘駅への  
行き違い設備の設置  
により可能

〔内野西が丘駅 ホーム現況〕



#### 【越後線ダイヤグラムの検証】



行き違い設備の設置  
に必要な用地あり。  
対面式ホーム設置等  
の駅舎改良が必要




〔運行本数の増加に向けた取り組み事例〕

J R 高山本線活性化社会実験

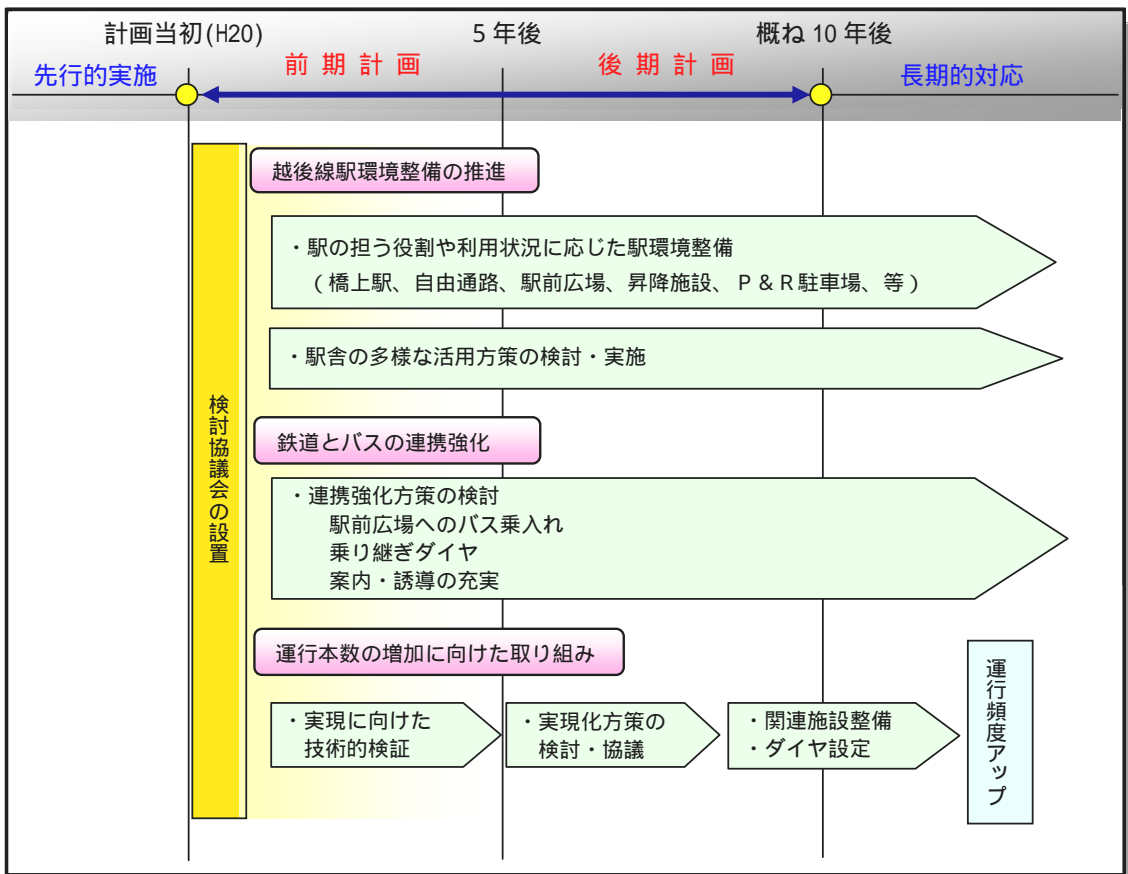
実験期間  
平成 18 年 10 月 21 日 ~ 平成 20 年 3 月

運行頻度の増加

区 間	実験中	実験前	増減
富山 ~ 速星間	50本	36本	+14本
富山 ~ 越中八尾間	50本	34本	+16本
富山 ~ 猪谷間	33本	21本	+12本



行動計画(案)



事業実施にあたっては、新たな補助制度の活用も視野に検討を行う。  
(例：地域公共交通活性化・再生法に基づく補助制度など)